

令和2年(2020年)5月28日

保護者の皆さま

豊中市立第十三中学校
校長 成瀬 彰

分散登校期間中における新しい授業形態の試行について

向暑の候、皆様方にはご健勝のことと拝察いたします。日頃は本校の教育活動にご理解ご協力を賜りましてまことに有難うございます。

新型コロナウイルスによる感染症もようやく一段落といった段階ですが、今後必ず第二波、第三波と再度感染拡大の時期がやってくると予想されております。万一再び臨時休業となった場合には、これ以上子どもたちの学びを止めることを避けるために本校ではオンライン授業を実施していくことも検討しております。

つきましては、6月1日から12日までの分散登校の時期に、一部の授業において学校内での同時配信による授業を試行することといたしました。これは、1つの教室で授業をしている様子を他の教室にいる生徒が視聴して参加するものです。各教室には監督の教員がつき、子どもたちの学びを見取ります。リアルタイムでの配信になりますので、ネットワークを通して授業に参加し、監督の教員を通してわからない点を質問したり、ワークシートに取り組んだり、提出物を提出したりもします。授業者が各教室を巡回する場合があります。

今年度、政府は生徒1人に1台のタブレットPC端末を整備する「GIGAスクール構想」を推進することとしており、学校はこれに対応する新しい学びの形を進めることが求められております。本校では今回オンライン授業の試行をすることで見えてくる新しい課題を洗い出し、教育活動の質的向上に努めてまいり所存です。

このような動きの中で、本校が新しい授業形態の試行をすることにつきまして、何卒ご理解を頂きますようお願いいたします。